

TOPICS 4 当院リハビリテーション

私たち多摩丘陵リハビリテーション病院は「心豊かに生きがいのある暮らしをおくれるようにその人らしさを大切にリハビリテーションを提供する」を理念にリハビリテーションを実施しています。2025年度は新人リハビリスタッフが8名(PT4、OT1、ST3)加わり総勢94名となりました。また新たなリハビリ機器を購入するなど日々進化しています。

2026年も多摩丘陵リハビリテーション技術部をどうぞよろしくお願い致します。

当院リハビリ取り組み紹介

失語症友の会「元気でやってる会」

当院では30年以上前から1回/月、第3日曜日14時～15時40分失語症者・家族の集まりの場として友の会を開催しています。失語症によって言葉が話しにくくなってもここに来ると元気がもらえる、をコンセプトに会ではお互いの近況報告やテーマに合わせた会話、ゲーム、ときにはお菓子作りなどもしながら楽しんでいきます。



Information

【交通アクセス】

〒194-0202

東京都町田市下小山田町1491



■多摩センター駅から

- ・無料送迎バス：所要時間 約10分
- ・京王バス：所要時間 約20分
11番乗り場 (多43) (多45)
下車：多摩丘陵リハビリテーション病院

■町田駅から

- ・神奈中バス：所要時間 約25分
町田バスセンター 14番乗り場
(町31系統) 終点下車

■東名高速

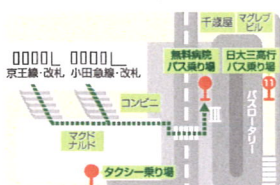
横浜・町田I.Cより 約35分

■中央高速

国立・府中I.Cより 約25分

■小田急多摩センター駅

- ・タクシー乗り場



【病院概要】

診療科目 リハビリテーション科

訓練時間 毎日(土日・祝日含む) 8:50～16:30

※治療時間中の各訓練見学は可能です。

病床数 117床

【入院相談について】

リハビリテーション目的での入院希望の方には予約制での入院相談を行っています。

【入院相談窓口】

医療福祉相談室
☎ 042-797-1214

問合せ

☎ 042-797-1701 (代表)

【ホームページ】

<https://www.tamakyuryo.or.jp/rehabilitation/>



発行：幸隆会 広報委員会

医療法人社団 幸隆会

多摩丘陵リハビリテーション病院

生きる力を支えあい、ぬくもりのある医療と看護を提供します

たまきゅうりハ便り

2026.1

多摩丘陵リハビリテーション病院広報誌 第5号

謹賀新年

TOPICS 1 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。日頃より私たちの活動を温かく見守ってくださっている地域の皆さま、そして幸隆会の医療・看護・介護を支えてくださっている職員の皆さまに、心より御礼申し上げます。

2026年、丙午(ひのえうま)の年を迎えました。丙午は「新しいことに挑戦する力が高まる年」と言われております。この節目に、気持ちも新たに、前向きな歩みを進めてまいります。

幸隆会は、**幸隆会は1つである**という理念のもと、4つの医療施設が力を合わせております。多摩丘陵病院、多摩丘陵リハビリテーション病院、グリーンヒルクリニック、わかば訪問看護ステーションが互いに連携し、急性期医療からリハビリテーション、外来診療、在宅支援まで、切れ目のない医療を提供しています。特に2つの病院を軸としながら、クリニックと訪問看護が地域の皆さまの生活に寄り添うことで、幸隆会ならではの医療のかたちを実現しております。

全国的に医療を取り巻く環境は厳しく、公定価格による診療報酬制度のもと、多くの医療機関が経営面での困難に直面しています。そのような中であって、幸隆会の経営は昨年一年、着実な改善を見せました。これは、職員一人ひとりが誠実に業務へ取り組み、地域の皆さまに寄り添う医療を実践してきた成果にほかなりません。皆さまのご尽力に、心から感謝申し上げます。

また、日々の診療において、患者さまやご家族から「丁寧に診ていただけた」「安心して過ごせた」といった温かいお言葉を頂戴しております。これは、幸隆会の基本理念である **生きる力を支え合い、ぬくもりのある医療と看護を提供します** を、職員全員が心に刻みながら実践している証と感じております。地域の皆さまからいただくこうした声は、私たちにとってかけがえのない励みです。

南多摩地域では高齢化が一層進み、医療・看護・リハビリ・在宅支援の連携がこれまで以上に重要となっています。幸隆会の4つの施設が一体となって、地域の皆さまの生活を支える「途切れない医療の流れ」を築き上げていることは、私たちの**大きな使命であり誇り**です。今後も地域の皆さまにとって「安心して相談できる身近な存在」であり続けられるよう、努めてまいります。

丙午の「前へ進む力」を糧に、本年も幸隆会は新しい工夫や取り組みに果敢に挑戦してまいります。地域の皆さまと職員とともに、より良い医療と暮らしを創造する一年にしたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

医療法人社団 幸隆会 理事長 小澤 壮治



TOPICS2 新年のご挨拶

明けまして
おめでとうござます



新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

当院は、脳卒中や骨折術後などの患者さまを対象に回復期リハビリテーションを担っております。昭和57年に開院した多摩丘陵病院を基軸として、地域の皆さまに「ぬくもりのある医療」を提供することを理念に歩んでまいりました。令和5年には、隣接地に新病院を建設し、多摩丘陵病院（急性期）と当回復期病院としての機能分化を行いました。おかげさまで、今日まで安定して地域医療に貢献し続けることができております。これもひとえに、地域の皆さまをはじめ、近隣の医療機関、福祉・介護事業者の皆さまからの温かいご支援の賜物であり、心より御礼申し上げます。

さて、医療を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、当院では長年にわたり地域リハビリテーションに携わってきた経験をもとに、質の高いリハビリテーション医療の提供に努めております。多職種が一つのチームとなり、患者さまの生活を最適に再建し、QOLの向上を図ることこそ、良質なリハビリテーションの根幹です。麻痺や高次脳機能障害などの改善を目指すのはもちろんのこと、ご高齢の患者さまには在宅生活の継続に向けた支援を、また就労年齢の患者さまには外来リハビリテーションの継続を通じて復職・再就労の支援に努めることが重要であると考えております。

振り返りますと、昨年一年、職員一人ひとりが所属部署における組織改善や専門技術のアップデートに積極的に取り組み、結果として、当院全体としての価値を大きく高めてくれました。リハビリテーション専門病院として胸を張って誇れる成果であり、院長として大変心強く感じております。

本年も職員一同、一丸となって患者さまの生活再建とQOL向上に力を尽くしてまいりますので、引き続き変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げるとともに、本年が素晴らしい一年となりますよう心より祈念申し上げます。

令和8年元旦

多摩丘陵リハビリテーション病院 院長 岡島 康友



TOPICS3

藤井 智恵子

新年明けましておめでとうございます。すべての人が、等しく社会に受け入れられ、幸せを感じながら生活をしていくことができる理想郷を目指し、その手助けを少しでもできればと考えています。それがどんなに難しい課題であるかを日々直面しておりますが、くじけることなく進んでまいります。すぐに視野が狭くなり目先のことに心奪われがちなので、もっと広く世の中を見渡して考えると叱咤激励していただければと思います。今年もよろしくお願い申し上げます。

副院長 金子 雅俊

新年あけましておめでとうございます。2023年5月より多摩丘陵リハビリテーション病院としてスタート以降、3度目の新春を迎えることができました。今年は春に病院機能評価の審査などあり、その準備・対策などに関係各所準備に追われています。今年も感染症対策などに十分注意しながら、頑張る所存です。

山片 敦

新年あけましておめでとうございます。リハビリ医療の重要性が一層高まる中、チーム医療の一員として今年も患者さまの安全と安心を最優先に、現場の声を大切にしながら取り組んでまいります。また安全対策をさらに強化し、患者さまが安心してリハビリに専念できる環境づくりを目指して職員一同が安全意識を共有できる環境整備に力を注ぎます。本年もどうぞよろしくお願い致します。新しい年が皆さまにとって実り多き素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



リハビリテーション科
医師のご挨拶

杉江 正行

新年あけましておめでとうございます。早いもので、当院でお世話になってから1年が経ちました。改めて、リハビリテーション医療の重要性と奥深さを感じながら、日々精進しております。本年も、微力ながら少しでも皆さま方のサポートができれば、と考えております。どうぞよろしくお願い致します。

原 巳津子

明けましておめでとうございます。昨年中は急性期病院始め地域の皆さまには大変お世話になり、ありがとうございました。お陰様で沢山の患者さまの笑顔を見ることができました。今年も脳血管疾患や骨折で急性期を乗り越えた患者さまの希望となれるよう日々努めてまいります。お一人お一人のお心に添えるようリハビリテーションを提供できますよう、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。関わってくださる全ての方が笑顔となりますように。

岸本 幸次

新年明けましておめでとうございます。昨年10月に着任以来、患者さま、リハビリ技術部、および院内各部門の皆さまから多くのことを学ばせて頂いております。これまでの急性期・ケアミックスでの経験を生かしながら、今年の干支である馬、その力強く前進する姿にあやかり、私自身も着実に成長し、早く戦力となれるよう努めてまいります。